

# ProMED-mail情報 2020年2月版

ProMED-mail <https://www.promedmail.org/> の記事から、感染症業務関係者の皆さまにピックアップ記事を紹介し、FORTH（厚生労働省検疫所の情報提供サイト <https://www.forth.go.jp/>）に掲載されるものは省略しています。

編集：厚生労働省福岡検疫所

掲載日	表題	概要
26日	ペスト コンゴ民主共和国	イツリ州Godjoka保健局から25日に肺ペスト流行と死亡者の報告。ペスト迅速診断キット陽性にて、遺体安置の消毒と埋葬に係わった親族、村民等接触者300人を追跡し、ドキシサイクリン投与。26日朝から小児と妊婦にはトリメトプリン・スルファメトキサゾール合剤投与。
23日	デング熱 東南アジア	2019年間の報告数は、ベトナム320,702例(死亡54例)、フィリピン420,453例(死亡1,565例)、マレーシア130,101例、シンガポール15,999例。いずれの国も、報告数は2018年より増加。
22日	マラリア ケニア	標高1,960mに所在するリフトバレー州ボメット郡は低気温にて、マラリア感染区域外であった。同郡で過去4日間に、130人以上の感染流行。郡下のロンギサ病院で39人、テンウエク病院で25人が治療。
21日	ラッサ熱 ナイジェリア	2020年7週までの累数は、疑い2,176例、確定586例、死亡103例(致死率17.6%)、流行は26州に達したが、確定例の発生割合は、35%がエド州、32%がオンド州、6%がエボニル州と局在。疑い例は、前年に比べ急増。
19日	MERS サウジアラビア	過去5日間に新患2例と治癒1例の報告。今年の新患計8例は、すべて一次感染で、1例のみラクダと接触歴有り、他の感染源は不明。
18日	アフリカ豚熱 韓国	昨年5月から9月まで、各地養豚場で発生し、40万頭が殺処分。今年2月14日に、南北軍事境界線付近で捕獲された野生イノシシ19頭から、ASFウイルス検出。野生イノシシからのウイルス検出は、合計204頭。
15日	クリミアコンゴ出血熱 南アフリカ共和国	ダニ媒介ウイルスによる人獣共通感染症で、致死率は10~40%。1981年以降、毎年0から20例が報告され、過去30年間の確定診断の合計は180例。うち半数以上は、北ケイプ州と自由州の半乾燥地域からの報告。
8日	鳥インフルエンザH9N2 香港	1999年以降、香港で9例目のヒト感染例報告。2月4日せき、鼻水で発症、翌日発熱しクリニック外来受診。新型コロナ感染疑いで2月6日マーガレット王妃病院へ隔離。2月7日に鳥インフルエンザH9と診断。深圳の祖父宅にて、潜伏期間中に鶏と接触有り。
6日	黄熱 ブラジル	サンタカタリナ州は、年間を通じ、黄熱ウイルスの森林型伝播の存在を野生サル死体のウイルス検査で確認。今年、同州で2例のヒト感染報告。森林型黄熱排除は不可能なため、住民の予防接種率95%達成が重要。
4日	E型肝炎 ナミビア	昨年12月から流行し、罹患計7,063人(男4,167人、女2,896人)、死亡計59人(うち妊婦24人)。E型肝炎ウイルス遺伝子型1が、開発途上国における経口感染源。主に首都ウィントフックの不法移民からウイルス検出。
1日	サルマラリア タイ	マラリア危険地域でないアンダマン海リトルコーチャン島に約1ヶ月間、1月20日まで滞在したドイツ人男性が、1月21日から発熱。1月24日ミュンヘン熱帯医学センター受診。マラリア迅速テスト陰性にて、血液塗抹陽性、PCR陽性にて診断され、マラロン治療有効。
1日	エゾウイルス 日本	2019年5月、40代男性が山菜採りで、腹部のダニ咬傷。咬傷後5日後から発熱、両下肢痛の症状出現。咬傷後9日後に歩行困難となり札幌市民病院入院。入院後10日後、血清と尿から新型オルソナイロウイルス同定。ダニ媒介感染SFTSに近いが、この新型ウイルスの追跡調査が必要。